

未来のサイズ

桜舞い散る この春爛漫の日、入学式を迎えた160名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。このステージ上からは、大きめの制服を身にまとい、少しの緊張と、これから始まる中学校生活に期待する皆さんの、希望にあふれた表情を見ることが出来ます。俵万智さんという歌人は、入学式の大きめの制服を「未来のサイズ」と表現し、こんな短歌を詠んでいます。「制服は未来のサイズ入学のどの子どもどの子ども未来着ている」。近い未来、中学校3年間で、今着ている制服が小さく感じるほど、身体が大きくなることでしょうか。身体だけでなく、心も大きく成長します。先ほどの短歌で俵万智さんが「どの子どもどの子ども未来着ている」と表現したように、皆さんが今着ている制服は、希望にあふれた未来を象徴するものなのだと思います。そんな未来に向かって歩み出す皆さんの胸にとどめておいて欲しいことを、ここでは1つお話します。

それは、夢と目標をしっかりとをもって欲しいということです。アメリカのメジャーリーグが日本時間で本日の午前中に開幕しました。エンゼルスの大谷翔平選手は開幕戦も投手と打者の二刀流で先発出場しています。

大谷選手の夢は、高校生の頃から、メジャーリーグで活躍することでした。その夢を叶えるために、高校1年生の時には2つの目標を設定したそうです。1つは「160^{キロ}のスピードを出すこと」です。目標の達成に向け、「下半身の筋力の強化」「体重の増加」などに取り組む計画を立て、実行したと聞いています。2つ目の目標は「人から応援される人間になること」です。目標達成のため、「あいさつ」「ゴミ拾い」などを継続して行ったそうです。大谷選手の素晴らしいところは、夢をもつことだけでなく、夢を叶えるための目標を計画的に設定したところです。そして、目標達成のための具体的な取組みを確実に実行したところです。

皆さんの夢は何ですか。その夢を叶えるために、中学校1年生では何を目標にし、具体的にどのようなことに取り組みますか。この入学式をきっかけに、考えてみて下さい。

熊谷市では市内の全ての小・中学校において「学力日本一」を目標に、「知・徳・体のバランスのとれた学力」の育成に取り組んでいきます。本校では、そのことを踏まえ、「自ら学ぶ生徒」「思いやりのある生徒」「進んできたえる生徒」を育てることを目標に、生徒一人一人にしっかりと目を向け、授業を中心とした日々の教育活動に取り組んでいきます。

保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。「未来のサイズ」の制服を着たお子さんを確かにお預かりいたしました。その責任の重さに身の引き締まる思いがします。未来に向かって歩み出したお子さんが心身共に大きく成長するためには、保護者の皆様と私たち職員とが心をつなげて支え導いていくことが大切です。本校の教育活動に対しましても、御理解・御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、新入生の未来が明るく輝かしいものであることを改めて祈念し、令和4年度入学式の式辞といたします。